

研

究

第一、第二号に報告した、アメリカ研究所主催の公開講演会、研究会は、その後も引継ぎ行なわれ、1966年2月までに下記の会合をもった。

- <アメリカ研究講座1> 65. 4. 27
「アメリカ社会における上流階級（パトリシヤン）の伝統Ⅰ」
Edward Norman Saveth (New School for Social Research)
- <アメリカ研究講座2> 65. 5. 4
「アメリカ社会における上流階級の伝統Ⅱ」
Edward N. Saveth
- <アメリカ研究講座3> 65. 5. 11
「1920年代のアメリカ」
Edward N. Saveth
- <公開講演会>及び<討論会> 65. 5. 19
Robert Lee (Pacific School of Religion)
「アメリカの宗教生活における矛盾と創造性—社会的分析」
“Conflict and Creativity in American Religious Life”
- <アメリカ研究講座4> 65. 5. 25
「アメリカ史と社会科学」
Edward N. Saveth
- <アメリカ研究講座5> 65. 6. 1
「1920年代のアメリカ」
Edward N. Saveth
- <講演会>及び<討論会> 65. 6. 4

第三号では、従来の編集方針をいささか上げ、各分野における論文、講演、研究ノート、あわせて四篇収めえたことを喜びたい。特に Jensen 教授は、昨春再び来日されたおりに、4年前の連続講演の筆記原稿に新しく加筆されるなど、懇切な助力を与えられたが、数多い同教授の著作でも最初の邦訳、まだジェンセン学説の手ごころな入門として充分価値あるものと信じる。

従来、アメリカ研究所の共同プロジェクトとして「両大戦間のアメリカ」を取り上げてきたが、定期研究会はここで一応打切ることとし、今後は本誌上で1920年代、30年代関係の論文を引続き発表していく計画である。なお本年度からアメリカ研究振興会の研究助成金を受けて、下記のテーマを中心に共同研究プロジェクトが発足した。日米交渉史におけるアメリカ思想の研究。アメリカ文化におけるピューリタニズムの

所

報

- 「アメリカ対外政策の展開と世論」
Dorothy B. Robins (Cultural Programs Officer, United States Information Service, American Embassy, Tokyo)
- <アメリカ研究講座6> 65. 6. 8
「アメリカにおけるマルクス思想」
Edward N. Saveth
- <アメリカ研究講座7> 65. 6. 29
「Henry Adams の日本訪問」
Edward N. Saveth
- <American Studies Institute: 公開講演会> 65. 12. 10
“The Negro in American Life”
David M. Chalmers (Fulbright Visiting Lecturer: University of Tokyo; University of Florida)
- <American Studies Institute: 討論会> 65. 12. 11
“Recent Interpretations and Research on the Nature of American Reform Movements,”
David M. Chalmers
- <American Studies Institute: 講演会> 65. 2. 7
“Melville and Search for an American Identity,”
Charles R. Anderson (Johns Hopkins University)
- <American Studies Institute: 講演会> 65. 2. 8
“Optimism and Pessimism in American Literature,”
Charles R. Anderson

研究。アメリカ経済戦後20年の研究。アメリカ政治における最高裁判所の研究。

なお、第三号の編集には、古米淑郎、野間俊威、大下尚一、麻田貞雄が当たった。関係各方面からの御助力に厚く謝意を表するとともに、今後とも広く御批判と御尽力を仰ぎ、次号より一段と内容の充実したものにすることを期待したい。

(O, A)

同志社アメリカ研究第3号

1966年7月30日 印刷

1966年7月31日 発行

編集・発行者 同志社大学アメリカ研究所
京都市上京区烏丸今出川

印刷所 眞興社印刷株式会社

定価 250円